



皆さん、明けましておめでとうございます。早速ですが、今年の漢字は、「躍」ですね！
 昨年の漢字は「金」でしたが、あえて年頭に宣言します。東海村に関わる全ての方々
 が活“躍”する姿をたくさん見たい。東海村というまちを大きく飛“躍”させたい。そして、
 私自身も“躍”動感あふれる村長として頑張っ参りますので、よろしくお願ひします。
 皆さんの大好きな東海村をもっともっとPRしていきましょう！

東海村長 山田 修

2017 東海村、シティプロモーション始動！

「東海村って何があるの？」と聞かれて、
 思わす…

「えっ、何もなしよ」

なんて答えてしまったことはありませんか？

「だって、ほしいもと研究所へらひしかないとしょ？」

「結構喜らひやすいけど、」

何が良いところって聞かれると…」

そうなんです！

東海村の暮らしは悪くない、でも、

何が良いところなのかうまく伝えられない…

という方は、意外と多いのかもしれない。

全国的に認知度(知名度)はあるものの、

普段自分たちが感じている魅力が

正しく伝わっていないという現状があります。

東海村の良さを

もっとたくさんの方に知ってもらうためには、

村の魅力や自慢したいところ、その思いを

みんなで共有して、

村内外に積極的にPRしていく必要があります！

それがこの「シティプロモーション」の取り組みです。

なぜシティプロモーションに取り組むの？

村では、「東海村人口ビジョン」と、「東海村まち
 ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少問

題に取り組んでいます。そこに掲げ
 る人口の将来展望の達成に向けて、
 若い世代の定住化促進等の施策を進
 めることとしており、その一環として
 シティプロモーションに取り組みます(3ページ参照)。

そもそも「シティプロモーション」って…

日本全体で人口が減少する中、単に観光や特産品等の
 PRで東海村の名前を覚えてもらうだけでは、実際に人
 口を増加させることは容易ではありません。村の魅力を
 PRすると同時に、「東海村をより良くしていきたい！」
 「東海村が好きだ！」東海村は自分に合うまちだ！と思
 えるなど、東海村に関心を示し、地域に参画する人を増
 やしていくことで、このような課題にもみんなが一体と
 なって対応していくこととするのが、東海村の目指すシ
 ティプロモーションです。

そのために！

今年度は東海村のキャッチコピー「ロコマークと、村
 の暮らしやすさや、子育てのしやすさなどをPRするた
 めの「東海村ウエルカムガイド」の作成を予定しています。
 村の魅力や、自慢したくなるポイントなどを皆で共有す
 るため、普段、皆さんが感じている魅力について、イベン
 トでの街頭インタビューや、子育てママや中学生による
 ワークショップのほか、10月下旬～11月下旬にかけて行っ
 たアンケートで調査しました(結果は4・5ページ参照)。

問い合わせ

広報広聴課情報発信担当 ☎282局1711 内線1305

東海村には何もない
 わけじゃない！
 広報とうかい 2017年1月10日号 2 ● キャンペーン
 東海村の
 “いいところ”探シタイ





数字で見る東海村 現状と課題

財政力指数 県内 第1位 / 44	人口1,000人当たりの 婚姻件数 周辺エリア 第3位 / 8	合計特殊出生率 県内 第2位 / 44
年少人口割合 <small>(15歳未満の人口数/総人口数)</small> 県内 第1位 / 44	流入人口比率(昼間人口) <small>(流入人口数/総人口数)</small> 県内 第3位 / 44	住民1人当たりの 教育費(村予算) 県内 第2位 / 44
人口1,000人当たりの 公立図書館の蔵書数 周辺エリア 第1位 / 8	認知度 県内 第4位 / 44	※データは、茨城県社会生活統計指標(平成28年5月)〔「認知度」のみ地域ブランド調査2015)を基にしています。 ※周辺エリアは、東海村、水戸市、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、那珂市を指します。



しかし、この一方で…

魅力度 県内 第20位 / 44 全国 第745位 / 1047
居住意欲度 県内 第35位 / 44 全国 第997位 / 1047

※データは、地域ブランド調査2015を基にしています。

東京圏への人口流入の拡大!
 このままでは、**地方の人口減少が進み、地域として衰退する恐れが…**

- ▼住民生活への影響…地域コミュニティの衰退(担い手の不足など)、交通インフラの衰退、まちの防犯能力の低下
- ▼地域経済への影響…基幹産業の弱体化、消費人口(域内市場)の縮小
- ▼行政運営への影響…歳入の減少、医療・介護分野における歳出の増加

選ばれる自治体を目指して!
早急に、村の魅力発信に取り組む必要が
あります!



東海村の「いいところ」探しタイ(隊)





皆さんに聞きました！ 東海村の“いいところ”ってどんなところ？

村では、東海村の“いいところ”を探す第一歩として、担当職員で「東海村の“いいところ”探しタイ(隊)♪」を結成。村内外から、多くの方が集まるイベントなどで、村の魅力や自慢したいポイントなどについて聞き取り調査を行いました。

また、10月8日に開催された「大空マルシェ」では、皆さんが感じる“村のイメージ”の欄にシールを貼ってもらい、合計230人の方から回答をいただきました。結果は右表のとおりです。



第1位	子育て環境 (91票)	230人に 聞きました！
第2位	自然・風景 (49票)	
第3位	サイエンス・科学 (38票)	

2,061人に
聞きました！

また、10月下旬～11月下旬に行ったアンケートでは、合計2,000人以上の方から“村の自慢したいところ”などについて、次のような声をいただきました。



【子育て・教育】

- ▼子育て支援が充実していて、子どもが欲しいなと思える！
- ▼総合福祉センター「絆」(子育て支援センターなど)があると、雨の日でも子どもが遊べうれしい。
- ▼広くて、きれいな公園が多い(84か所)。
- ▼保育所やこども園を開放している。
- ▼子育てサークルが多い。また、子育てについて先生(保育士等)に相談できる機会が多いのもうれしい。
- ▼医療費や予防接種の補助が充実。
- ▼給食がおいしい！ 東海村で採れたおいしい野菜や米が食べられる。
- ▼学童保育が6年生まで利用できる。
- ▼エンジョイ・サマースクールがある。

- ▼小学校からネイティブの先生に英語を教えてもらえる！
- ▼学校の授業に先生が2人いる(チーム・ティーチング)。

このほかにも東海村では…

子育て支援事業として、お子さんやママ同士の交流、子育ての悩みなどを保育士などに相談できる機会を提供し、ママたちの“子育てをもっと楽しく！”を応援しています。

指導室
根本 和典さん



学校教育課
横須賀 学さん



それに…

小学1・2年生時の少人数学級編成(30人以下)や、教科特別指導員の配置等、きめ細やかな教育支援を行っています。





【住みやすさ(住環境)】

- ▼ちょうど良い広さ、ちょうど良い気候、ちょうど良い田舎。
- ▼自然と建物との割合がちょうど良い。村にしては都会的。
- ▼だいたい何でもあって買い物がしやすい。周りにコンビニが多くあり便利。近くにショッピングモールもある。
- ▼道路が平らなところが多い。
- ▼交通の便が良い(高速道路やJR常磐線、バス、デマンドタクシーなど)。東京までも行きやすい。
- ▼村内どこからでもJR東海駅が遠くない。
- ▼渋滞が少ない。
- ▼水戸市や日立市に近くて便利。進学先の選択肢が多い。

【その他】

- ▼いろいろな国の方がいる。国際親善姉妹都市・米国アイダホフォールズ市との交流もある。
- ▼外国の方は、茨城県は知らなくても、東海村は知っている。
- ▼雇用がある。▼若い世代が多い。
- ▼全国の村の中で人口が2位！
- ▼大神宮や村松山虚空蔵堂等の歴史的なロケーションがある。

【自然】

- ▼自然が豊か。松林が美しい。
- ▼近所にキジがいる。
- ▼サケが遡上する川がある。
- ▼海が近い。サーフィンができる。
- ▼ホテルが見られる場所がある。
- ▼阿漕ヶ浦公園の桜がきれい。
- ▼木々や田畑の風景から四季が感じられる。

【サイエンス】

- ▼J-PARCや原子力の研究所をはじめとした最先端科学技術の拠点が集結している。
- ▼原子力の発祥の地。
- ▼放射線医療など生活に役立つ研究を進める施設や、ニュートリノ実験などノーベル賞に関わるような研究施設がある。
- ▼科学に関するイベントがあり、さまざまな体験ができる。

【特産品】

- ▼ほしいもやサツマイモ、米がおいしい。ほしいもは、丸干しもある。
- ▼直売所で新鮮な野菜が買える！
- ▼ナシやブドウ、イチゴ狩りができる。

【村民力】

- ▼地域が家族のように身近。近所の人、学校帰りに「おかえり」と言ってくれる。
- ▼まちを大切にしている人が多い。

